

目指すべき法人像

ビジョン

『良い団体で 最高のNF(中央競技団体)』

ミッション

『良い団体』とは…

- ①関係団体・会員から信頼され喜ばれる団体
- ②空手界の統括団体として社会から評価される団体
- ③職員が活力に満ち胸を張って誇れる団体

バリュー

『最高のNF』とは…

- ①適正な収支バランスを維持し続けるNF
- ②伝統を守り、世界に誇れる人材を輩出し続けるNF
- ③学校教育の現場から強い信頼と期待を得るNF

全空連の基本理念

- ①空手道を通して感動、喜び、成長を体現する
- ②空手道の健全な発展と普及を追求し
生涯空手を目指す
- ③もって、国民の身心の錬成に寄与する

中長期基本計画の概要 2023年4月～2027年3月

2022.2.22

9.27(改定)

12.9(改定)

(公財) 全日本空手道連盟

【基本戦略】

【具体的施策の方向性】

・空手人口に見合った 強固な財政基盤の構築

- 受取会費と登録料を經常収益の2本柱として捉えていく
- (1) 受取会費：114百万円(2021)⇒130百万円(2026年度)
 - ・「会員・会費増強プロジェクトチーム(仮称)の立ち上げ
 - ・新会員登録システムと現場実情の検証
- (2) 受取登録料：124百万円(2019)⇒150百万円(2026年度)
 - ・受講→審査→登録の一体推進
 - ・日本スポーツ協会(JSPO)との連携強化
- (3) その他
 - ・各種大会の連続統合開催(空手week)の実現→経費削減
 - ・学校武道空手採用校の増強 470校(2021)⇒1000校(2026年度)
 - ・健全な指導者の育成

・しっかりとした ガバナンス(組織統制) 体制の確立

(※) 3本柱

1. 中長期基本計画
2. 人材の採用・育成計画
3. 財務の健全性確保計画

- 「ガバナンスコード」(スポ庁※)への戦略的対応
- (1) 中期計画策定委員会の再編成(2022.4)
 - ・「組織基盤強化支援事業助成」制度への挑戦(2022.6)
 - ・倫理関連諸規程の一体改正～都道府県及び地区協議会とともに～
- (2) 人材採用・育成計画
 - ・外部兼業人材の活用、アスリート2ndキャリア奨学金
- (3) 中長期収支計画(2022～2026年度)策定
 - ・中期国際戦略～PL福岡(2023)開催～

・「全空連」と 「武道スポーツ空手」 のブランド化

～もう一度、初心原点に戻
って事柄を見つめ直す～

- 「広報戦略室」の創設⇒“伝統に革新を”(Break Through)をスローガンに
- (1) 新規事業への取組み
 - ・体重別選手権(2022.6)→世界標準へ
 - ・団体形選手権(2022.7)→武道空手の真髄を広める
 - ・“Karate Stats”の導入→組手試合の見せ方工夫
- (2) メディア委員会(外部人材含む)の活用
 - ・メディア戦略チームの活用
 - ・「family演武会」の定着
- (3) スポンサー、サポーター企業戦略
 - ・専担常任理事の任命
 - ・JKF:CEO連絡会の創設検討